



## 誰もが 自分らしく 生きるため

## KAiGO PRiDE × LGBTQ

一般社団法人KAiGO PRiDEは、ダイバーシティ&インクルージョンの考えに基づき、4月12日にNPO法人「Startline.net」佐藤悠祐代表よりLGBTQにわたる介護について対談し撮影を行いました。多様性先進国では6人に1人がLGBTQと言われる、LGBTQ専用の介護施設もでき始めています。日本でも十数人に一人の割合と言われており、私たちが思っている以上に身近なことであると言えます。介護の業界においても性的マイノリティーの方々への配慮の必要性が注目されています。これは介護を受ける側だけではなく、介護をする側も同様であり「誰もが自分らしく安心して暮らせる社会」のためには、「LGBTQの方々へのメッセージを届けるのもKAiGO PRiDEのうちのミッションだと考えています。」  
対談の様子を一部紹介します。

**佐藤さんが思う自分らしさとは何だと思えますか？**

佐藤さん 自分がポジティブになれるものや場所、時間だと思えます。自身も介護する上でその人らしさを大切にするため、利用者の方に最初に何をしている時が一番好きですかと聞きます。自分が笑顔でいられるということが大切だと思います。

マンジヨット 我々も自分らしく生きることが非常に重要だと思っています。自分らしくとは誰かに合わせる、誰かのために我慢する、誰かのためだけにすることではなく、もっと自分が気持ちよく生活することです。

インタビューの全容は今後SNS等で発信していく他、介護の多様性についても積極的に発信していく予定です。

### 「自分らしく生きるとは、 自分が笑顔でいられること」

